

——オモチャ箱がアートに変わるとき——

金氏徹平

溶け出す都市、空白の森

Tepei KANEUJI : Melting City / Empty Forest

2009年3月20日(金・祝)～5月27日(水)



撮影：鈴木理策

近年、大きな注目を集める若手アーティスト金氏徹平(かねうじ・てっぺい)の初めての大規模な個展を横浜美術館で開催します。

氷の柱のように、白い樹脂が今にも滴り落ちそうな「彫刻」、壁一面に延びる白地図の線が架空の大陸を生み出す「絵画」など、金氏徹平の作品は、不動のものと動きあるものの境界や、実体のあるものとないものとの間の境界を覆してみせ、視覚的な謎掛けを挑んでいきます。

金氏徹平の作品は、コラージュやブリコラージュと呼ばれる「貼りつけ」や「寄せ集め」の手法により生み出されます。「見たことがあるようでいて、何だかわからないものをつくりたい」と語る金氏は、雑誌の切り抜きやプラスチック製品、木材などの身近な素材を使いながら、クリームのように流れ出しそうな彫刻、新種の生物の骨格標本のようなインスタレーションなど、未知の造形を作り上げていきます。これらの作品は、私たちに、子どもの頃夢中になった遊びに似た快感と、複雑に合体したイメージが喚起する知的な連想とが同居する、心地よい刺激を与えてくれることでしょう。

この展覧会は、作家初の試みとなるアニメーションによる大型のビデオ・インスタレーションや、10m以上におよぶ巨大インスタレーションを核に、新作を中心とした約110点で構成されます。真っ白な空間から始まり、極彩色のモノがあふれる世界へ帰結するという全体構成のもと、生命力に満ちた都市や森に踏み込んだかのようなダイナミックな展示空間が創出されます。会期中にはパフォーマンスをはじめとする多彩なイベントも催され、それらを通じて、豊かな色と形が音楽的なリズムを生み出す金氏徹平の作品世界を体感して頂ければ幸いです。

[金氏徹平 (かねうじ・てっぺい)]



1978年、大阪府出身。京都市立芸術大学大学院彫刻専攻修了。

●主な展覧会

「金氏徹平展 splash & flake」 広島市現代美術館・ミュージアムスタジオ (2007)

「笑い展：現代アートにみる『おかしみ』の事情」 森美術館 (2007)

「美麗新世界：当代日本視覚文化」 Long March Space、Inter Arts Center、
東京画廊+BTAP (北京) / 広東美術館 (広州) (2007)

「MOTアニュアル2008 解きほぐすとき」 東京都現代美術館 (2008)

上記のほか、木村友紀、飯川雄大らと共に活動するアーティスト・ユニットCOUMAとして、横浜トリエンナーレ2005などに参加。

展覧会情報

展覧会名：「金氏徹平：溶け出す都市、空白の森」

会期：2009年3月20日(金・祝)～5月27日(水) ※60日間

会場：横浜美術館 横浜市西区みなとみらい3-4-1 Tel.045-221-0300 www.yaf.or.jp/yama/

休館日：木曜日

開館時間：10:00～18:00 (金曜日は20:00まで、入館は閉館の30分前まで)

観覧料：一般¥1,000(900) / 大学・高校生¥700(600) / 中学生¥400(300) / 小学生以下無料

* () 内は20名以上の団体料金。

* 障害者手帳をお持ちの方と介護者1名は無料。

* 毎週土曜日は高校生以下無料 (生徒手帳・学生証をご提示ください)。

主催：横浜美術館 (横浜市芸術文化振興財団・相鉄エージェンシー・三菱地所ビルマネジメント 共同事業体)

後援：横浜市民生活推進局

協力：京浜急行電鉄 / 相模鉄道 / 東京急行電鉄 / みなとみらい線 / 横浜ケーブルビジョン

横浜市ケーブルテレビ協議会 / FMヨコハマ / 首都高速道路株式会社

お問合せ

横浜美術館学芸教育グループ 広報担当 (内山・松永・太田)

Tel.045-221-0370 / Fax.045-221-0317 e-mail:pr-yama@yaf.or.jp